

呉工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	英語
科目基礎情報					
科目番号	0304		科目区分	一般 / 選択必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	環境都市工学科		対象学年	5	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	鈴木佑治『プロジェクト発信型英語 Volume 1』 (南雲堂)				
担当教員	松崎 翔斗, 大森 誠				
到達目標					
1. プレゼンテーションのためのリサーチができること 2. リサーチの結果をまとめたプレゼンテーションスライドを作成できること 3. 1, 2を用いて英語プレゼンテーションができること					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	プレゼンテーションのためのリサーチが適切にできる	プレゼンテーションのためのリサーチができる	プレゼンテーションのためのリサーチができない		
評価項目2	リサーチの結果をまとめたプレゼンテーションスライドを適切に作成できる	リサーチの結果をまとめたプレゼンテーションスライドを作成できる	リサーチの結果をまとめたプレゼンテーションスライドを作成できない		
評価項目3	評価項目1, 2の内容を用いて英語プレゼンテーションが適切にできる	評価項目1, 2の内容を用いて英語プレゼンテーションができる	評価項目1, 2の内容を用いて英語プレゼンテーションができない		
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 本科の学習・教育目標 (HA) JABEE 環境都市 (B)					
教育方法等					
概要	これまでに学習した英語の文法、語彙等を用いて、自らの考えを英語で発信できるよう、英語でのプレゼンテーション活動を行う。本授業は就職と進学に関連し、コミュニケーション力を高めることができる。				
授業の進め方・方法	演習を基本とする。新型コロナウイルスの影響により、授業内容を一部変更する可能性があります。				
注意点	<p>授業にはテキスト・辞書を必ず持参すること。学生諸君が英語を使う時間が多く取られるので、積極的に取り組み、疑問点は遠慮無く質問するよう期待する。</p> <p>【カリキュラムの中での位置づけ】 1~4学年の英語関連科目で学んだ内容および技能を基礎に、さらに英語力を伸ばすための科目。 【先行して理解する必要のある科目】 コミュニケーション英語I, II, 英語表現I, II, 上級コミュニケーション英語A, B, 英語 (4年選択科目) 【同時に学ぶ科目】 なし 【ESDとの関連 (教育目標)】 (ESD1) テキストの演習を通して、英語でのコミュニケーション能力を高めることで、他文化の人々と協力して行動するための素養を身につける。 【評価方法と基準】 JABEE合格基準: 60%以上 前期末試験33.3%+後期中間試験33.3%+後期末試験33.4%+ポートフォリオ30%=100%(100点) 60%以上を合格とする。 ※新型コロナウイルスの影響のため前期中間試験は中止</p>				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	Unit 1	学生同士がコミュニケーションする雰囲気を作ることができる	
		2週	Unit 2	英語で自分の好きなことについて話すことができる	
		3週	Unit 3	リサーチについて理解できる	
		4週	Unit 4	ミニ・プロジェクトの切り口を考えることができる	
		5週	Unit 5	ミニ・プロジェクトの切り口を選んでテーマを決め、リサーチできる	
		6週	Unit 6, 7	ミニ・プロジェクトのリサーチを進め、中間プレゼンテーションのスライドを作ることができる	
		7週	中間試験		
		8週	Unit 8, 9	中間ミニ・プレゼンテーションを行うことができる	
	2ndQ	9週	Unit 10	割り込みと繰り返しを用いた質疑応答ができる	
		10週	Unit 11	確認と説明を用いた質疑応答ができる	
		11週	Unit 12	期末プレゼンテーションの概要をまとめることができる	
		12週	Unit 13	期末プレゼンテーションの原稿を作ることができる	
		13週	Unit 14	期末プレゼンテーションのスライドを作ることができる	
		14週	Unit 15	期末プレゼンテーションのスライドを作ることができる	
		15週	期末試験		

		16週	試験結果返却・説明	
後期	3rdQ	1週	Unit 16	リサーチの構成要素を理解できる
		2週	Unit 17	インタビューの原案を作ることができる
		3週	Unit 18	インタビューを行い、その結果をまとめて報告できる
		4週	Unit 19	アンケートの原案を作ることができる
		5週	Unit 20	アンケートを行い、その結果をまとめて報告できる
		6週	Unit 21	中間プレゼンテーションの原稿を作ることができる
		7週	Unit 22	中間プレゼンテーションのスライドを作ることができる
		8週	中間試験	
	4thQ	9週	試験結果返却・説明	
		10週	Unit 23	パラグラフリーディングの技術を用いて、パラグラフのメインアイデアを取り出すことができる
		11週	Unit 24, 質疑応答の方法	パラグラフリーディングの技術を用いて、パラグラフのメインアイデアを取り出すことができる 質疑応答の基本的な表現を使うことができる
		12週	質疑応答の方法	質疑応答の基本的な表現を使うことができる
		13週	Unit 27	最終プレゼンテーションの原稿とスライドを作ることができる
		14週	Unit 27	最終プレゼンテーションの原稿とスライドを作ることができる
		15週	学年末試験	
		16週	試験結果返却・説明	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験		相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	30	0	100
基礎的能力	70	0	0	0	30	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0